

学校コード F113310103108  
注3

設置年度 令和 5年度  
計画の区分： 学部の学科の設置  
注1

**届出**

注2  
女子美術大学 芸術学部 共創デザイン学科

**【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書**  
(改正前大学設置基準適用)

学校法人女子美術大学  
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務企画部企画グループ
職名・氏名	企画グループ長 <small>シモダアキラ</small> 下田明
電話番号 (夜間)	03-5340-4556 (内線：520) 03-5340-4500
e-mail	plan@venus.joshibi.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

## 芸術学部

＜共創デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人女子美術大学

## (2) 大学名

女子美術大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒166-8538

東京都杉並区和田1丁目49番8号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	( フクシタ ユウジ ) 福下 雄二 (平成27年6月)		
学長	( オグラ フミコ ) 小倉 文子 (令和元年6月)		
学部長	( シミズ ミサコ ) 清水 美三子 (令和3年6月)		
学科長	( マツモト ヒロコ ) 松本 博子 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
芸術学部 共創デザイン学科 学士(芸術)	美術関係	4年	60人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	240人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	一人 (-) [-]	60人 (-) [-]	一人 (-) [-]	1.03倍	-	1.03倍	-	在留資格「留学」の確認は入学者のみ行っている。志願者、受験者及び合格者では確認を行っていない(「-」で表示)。
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	139 (-) [-]	(-) [-]					
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	137 (-) [-]	(-) [-]					
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	100 (-) [-]	(-) [-]					
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	62 (-) [-]	(-) [-]					
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		1.03						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	62 [ 9 ] ( — )	— [ — ] ( — )	
2年次	/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	
3年次			/		— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )
4年次	/				— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )
計			— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	— [ — ] ( — )	62 [ 9 ] ( — )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	62人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{62} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
アートを社会と生活に生かす	プロジェクト・スタディーズ	2・3・4通		2							3
	アーティスト・イン・レジデンス	2・3・4通		2							1
	国際芸術プログラム	2・3・4休		2							1
	地域共創学	1・2・3前・後		2							2
	アーティスト・イン・レジデンス概論	1・2・3前・後		2							3
	カラーコーディネート基礎	1・2・3前・後		2							1
	表現と癒しの営み	1・2・3前・後		2							1
	子ども発達論	1・2・3前・後		2							1
	インテリアデザイン史	1・2・3前・後		2							1
	インターシップ 1	3・4前・後		1							1
	インターシップ 2	3・4前・後		2							1
	インターシップ 3	3・4前・後		3							1
	インターシップ 4	3・4前・後		4							1
	博物館概論	1前・後		2							2
	キャリア形成A	1・2・3前・後		2							3
	キャリア形成B	1・2・3前・後		2							3
	キャリア形成C	2・3・4前・後		2							3
	キャリア形成D	2・3・4前・後		2							3
	情報メディア基礎演習	1・2・3前・後		2							1
小計 (19科目)	—		40								16
学部共通科目	Joshihi Foundation English A	1前		1							4
	Joshihi Foundation English B	1後		1							4
	Joshihi Art English A	2・3・4前		1							1
	Joshihi Art English B	2・3・4後		1							1
	English in Film and the Performing Arts A	2・3・4前		1							1
	English in Film and the Performing Arts B	2・3・4後		1							1
	Joshihi Global English A	1・2・3前		1							1
	Joshihi Global English B	1・2・3後		1							1
	English Conversation A	1・2・3前		1							1
	English Conversation B	1・2・3後		1							1
	フランス語 I A	1・2・3前		1							1
	フランス語 I B	1・2・3後		1							1
	イタリア語 I A	1・2・3前		1							1
	イタリア語 I B	1・2・3後		1							1
	ドイツ語 I A	1・2・3前		1							1
	ドイツ語 I B	1・2・3後		1							1
	中国語 I A	1・2・3前		1							1
	中国語 I B	1・2・3後		1							1
	フランス語 II A	2・3・4前		1							1
	フランス語 II B	2・3・4後		1							1
	イタリア語 II A	2・3・4前		1							1
	イタリア語 II B	2・3・4後		1							1
	ドイツ語 II A	2・3・4前		1							1
	ドイツ語 II B	2・3・4後		1							1
	中国語 II A	2・3・4前		1							1
	中国語 II B	2・3・4後		1							1
小計 (26科目)	—		26								10

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
アートを社会と生活に生かす	プロジェクト・スタディーズ	2・3・4通		2							5
	アーティスト・イン・レジデンス	2・3・4通		2							1
	国際芸術プログラム	2・3・4休		2							1
	地域共創学	1・2・3前・後		2							1
	アーティスト・イン・レジデンス概論	1・2・3前・後		2							3
	カラーコーディネート基礎	1・2・3前・後		2							1
	表現と癒しの営み	1・2・3前・後		2							1
	子ども発達論	1・2・3前・後		2							1
	インテリアデザイン史	1・2・3前・後		2							1
	インターシップ 1	3・4前・後		1							1
	インターシップ 2	3・4前・後		2							1
	インターシップ 3	3・4前・後		3							1
	インターシップ 4	3・4前・後		4							1
	博物館概論	1前・後		2							1
	キャリア形成A	1・2・3前・後		2							3
	キャリア形成B	1・2・3前・後		2							3
	キャリア形成C	2・3・4前・後		2							3
	キャリア形成D	2・3・4前・後		2							3
	情報メディア基礎演習	1・2・3前・後		2							1
小計 (19科目)	—		40								19
学部共通科目	Joshihi Foundation English A	1前		1							5
	Joshihi Foundation English B	1後		1							5
	Joshihi Art English A	2・3・4前		1							1
	Joshihi Art English B	2・3・4後		1							1
	English in Film and the Performing Arts A	2・3・4前		1							1
	English in Film and the Performing Arts B	2・3・4後		1							1
	Joshihi Global English A	1・2・3前		1							1
	Joshihi Global English B	1・2・3後		1							1
	English Conversation A	1・2・3前		1							1
	English Conversation B	1・2・3後		1							1
	フランス語 I A	1・2・3前		1							3
	フランス語 I B	1・2・3後		1							3
	イタリア語 I A	1・2・3前		1							1
	イタリア語 I B	1・2・3後		1							1
	ドイツ語 I A	1・2・3前		1							1
	ドイツ語 I B	1・2・3後		1							1
	中国語 I A	1・2・3前		1							1
	中国語 I B	1・2・3後		1							1
	フランス語 II A	2・3・4前		1							1
	フランス語 II B	2・3・4後		1							1
	イタリア語 II A	2・3・4前		1							1
	イタリア語 II B	2・3・4後		1							1
	ドイツ語 II A	2・3・4前		1							1
	ドイツ語 II B	2・3・4後		1							1
	中国語 II A	2・3・4前		1							1
	中国語 II B	2・3・4後		1							1
小計 (26科目)	—		26								12



【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	共創デザイン演習 I-A	1前	2								1
	共創デザイン演習 I-B	1前	2								3
	共創デザイン演習 I-C	1前	2			1					4
	共創デザイン演習 I-D	1前	2								1
	共創デザイン演習 I-E	1後	2			1					3
	共創デザイン演習 I-F	1後	2				1				2
	共創デザイン演習 I-G	1後	2				1				1
	共創デザイン演習 I-H	1後	2								2
	共創デザイン実践 I	1通	2			3	3				2
	共創デザイン概論	1前	2			3	3				6
	ライフマネジメント論 I	1前	2								1
	ビジネスデザイン概論	1後	2			1					2
	コミュニケーション特論 I	1後	2								2
	デザイン基礎集中演習	1休	2		2						1
	ドローイング演習	1前	2		2						2
	プログラミング演習	1前	2		2		1				2
	インクルーシブデザイン論	1後	2		2						2
	自律的キャリア教育	1・2・3通	2		2						1
	産官学連携演習	1・2・3通	2		2	3	3				4
	産官学連携実践	1・2・3休	1		1	2					2
	共創デザイン演習 II-A	2前	2		2						1
	共創デザイン演習 II-B	2前	2		2						3
	共創デザイン演習 II-C	2前	2		2	1					1
	共創デザイン演習 II-D	2前	2		2						1
	共創デザイン演習 II-E	2後	2		2						2
	共創デザイン実践 II	2通	2		2	3	3				2
	行動デザイン論	2前	2		2						2
	コミュニケーション特論 II	2前	2		2						1
	ライフマネジメント論 II-A	2後	2		2	1	1				1
	ライフマネジメント論 II-B	2後	2		2	2					2
	共創デザイン選択演習 II-A	2後	2	2	2	1					4
	共創デザイン選択演習 II-B	2後	2	2	2	1					3
	共創デザイン選択演習 II-C	2後	2	2	2	1					1
	共創デザイン選択演習 II-D	2後	2	2	2	1					1
	共創デザイン演習 II-F	2休	2	2	2	1	1				2
	人間工学 (スペース&プロダクト)	2前	2	2	2	1					1
	コミュニケーション特論 III	2前	2	2	2		1				1
	感性異分野共創論 I	2前	2	2	2						7
	ソーシャルグッドネスデザイン論	2後	2	2	2						1
	留学認定科目 A	2・3通	2	2	2	1					2
	留学認定科目 B	2・3通	4	4	4	1					4
	留学認定科目 C	2・3通	6	6	6	1					6
	留学認定科目 D	2・3通	8	8	8	1					8
	留学認定科目 E	2・3通	10	10	10	1					10
	共創デザイン演習 III-A	3前	2		2	1					2
	共創デザイン演習 III-B	3前	2		2	1					2
	共創デザイン実践 III	3通	2		2	3	3				2
	知財・ファイナンス概論	3前	2		2						2
	ライフマネジメント論 III-A	3前	2		2	2					2
	ライフマネジメント論 III-B	3後	2		2						1
	ファシリテーション論	3後	2		2						1
	共創デザイン選択演習 III-A	3前	2	2	2	1					1
	共創デザイン選択演習 III-B	3前	2	2	2	1	2				1
	共創デザイン選択演習 III-C	3前	2	2	2						3
	共創デザイン選択演習 III-D	3前	2	2	2	1					2
	共創デザイン選択演習応用 III-Aa	3後	2	2	2	1					2
	共創デザイン選択演習応用 III-Ba	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Ca	3後	2	2	2	1					2
	共創デザイン選択演習応用 III-Da	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Ea	3後	2	2	2	2	2				1
	共創デザイン選択演習応用 III-Ab	3後	2	2	2	1					2
	共創デザイン選択演習応用 III-Bb	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Cb	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Db	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Eb	3後	2	2	2	2	2				1
	感性異分野共創論 II	3前	2	2	2						7
	共創デザイン実践 IV	4前	2		2	3	3				2
	卒業研究	4通	8		8	3	3				8
	ライフマネジメント論 IV-A	4前	2		2	3	3				1
	ライフマネジメント論 IV-B	4後	2		2	3	3				2
	小計 (70科目)	—	70	95	70	3	3				77
	合計 (192科目)	—	74	303	74	3	3				150
	卒業要件及び履修方法										
	学部共通科目から必修科目を含め30単位以上、学科専門科目から必修科目を含め94単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修登録の上限：1年次42単位、2～4年次49単位 (年間))										

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学科専門科目	共創デザイン演習 I-A	1前	2			1	1				1
	共創デザイン演習 I-B	1前	2			1	1				3
	共創デザイン演習 I-C	1前	2				1				6
	共創デザイン演習 I-D	1前	2								1
	共創デザイン演習 I-E	1後	2					1			2
	共創デザイン演習 I-F	1後	2				1				3
	共創デザイン演習 I-G	1後	2					1			1
	共創デザイン演習 I-H	1後	2				1				2
	共創デザイン実践 I	1通	2			2	2				2
	共創デザイン概論	1前	2			3	2				6
	ライフマネジメント論 I	1前	2								2
	ビジネスデザイン概論	1後	2			1					2
	コミュニケーション特論 I	1後	2				1				1
	デザイン基礎集中演習	1休	2		2		1	1			2
	ドローイング演習	1前	2		2						2
	プログラミング演習	1前	2		2			1			2
	インクルーシブデザイン論	1後	2		2					1	2
	自律的キャリア教育	1・2・3通	2		2		1	1			1
	産官学連携演習 I	1・2・3通	2		2	3	2				5
	産官学連携実践	1・2・3休	1		1	1					2
	共創デザイン演習 II-A	2前	2		2						1
	共創デザイン演習 II-B	2前	2		2						3
	共創デザイン演習 II-C	2前	2		2	1	1				1
	共創デザイン演習 II-D	2前	2		2						1
	共創デザイン演習 II-E	2後	2		2						2
	共創デザイン実践 II	2通	2		2	2	3				2
	行動デザイン論	2前	2		2						2
	コミュニケーション特論 II	2前	2		2						1
	ライフマネジメント論 II-A	2後	2		2		1	1			1
	ライフマネジメント論 II-B	2後	2		2		1				2
	共創デザイン選択演習 II-A	2後	2	2	2	1	1				4
	共創デザイン選択演習 II-B	2後	2	2	2	1				1	3
	共創デザイン選択演習 II-C	2後	2	2	2		1				1
	共創デザイン選択演習 II-D	2後	2	2	2		1			1	1
	共創デザイン演習 II-F	2休	2	2	2	1	1				2
	人間工学 (スペース&プロダクト)	2前	2	2	2	1					1
	コミュニケーション特論 III	2前	2	2	2		1				1
	感性異分野共創論 I	2前	2	2	2						7
	ソーシャルグッドネスデザイン論	2後	2	2	2						1
	産官学連携演習 II	2・3通	2		2	3	3			2	2
	留学認定科目 A	2・3通	2	2	2	1					2
	留学認定科目 B	2・3通	4	4	4	1					4
	留学認定科目 C	2・3通	6	6	6	1					6
	留学認定科目 D	2・3通	8	8	8	1					8
	留学認定科目 E	2・3通	10	10	10	1					10
	共創デザイン演習 III-A	3前	2		2	1	1				2
	共創デザイン演習 III-B	3前	2		2	1					2
	共創デザイン実践 III	3通	2		2	2	3				2
	知財・ファイナンス概論	3前	2		2						2
	ライフマネジメント論 III-A	3前	2		2		1				2
	ライフマネジメント論 III-B	3後	2		2			1			1
	ファシリテーション論	3後	2		2						1
	共創デザイン選択演習 III-A	3前	2	2	2	1	1				1
	共創デザイン選択演習 III-B	3前	2	2	2	1	2				1
	共創デザイン選択演習 III-C	3前	2	2	2						3
	共創デザイン選択演習 III-D	3前	2	2	2		1				2
	共創デザイン選択演習応用 III-Aa	3後	2	2	2	1					2
	共創デザイン選択演習応用 III-Ba	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Ca	3後	2	2	2	1					2
	共創デザイン選択演習応用 III-Da	3後	2	2	2			1			1
	共創デザイン選択演習応用 III-Ea	3後	2	2	2	2	2				1
	共創デザイン選択演習応用 III-Ab	3後	2	2	2	1					2
	共創デザイン選択演習応用 III-Bb	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Cb	3後	2	2	2						1
	共創デザイン選択演習応用 III-Db	3後	2	2	2			1			1
	共創デザイン選択演習応用 III-Eb	3後	2	2	2	2	2				1
	感性異分野共創論 II	3前	2	2	2						7
	産官学連携演習 III	3通	2		2	3	3			2	2
	共創デザイン実践 IV	4前	2		2	2	3				2
	卒業研究	4通	8		8	2	3				8
	ライフマネジメント論 IV-A	4前	2		2	2	3				1
	ライフマネジメント論 IV-B	4後	2		2	2	3				2
	小計 (72科目)	—	70	99	70	3	3				68
	合計 (194科目)	—	74	307	74	3	3			2	157
	卒業要件及び履修方法										
	学部共通科目から必修科目を含め30単位以上、学科専門科目から必修科目を含め94単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修登録の上限：1年次42単位、2～4年次49単位 (年間))										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。
- (1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和5年度】**

<教育内容の充実のための変更>

- ・ 「女子美基礎講座」の兼任・兼任教員を「3」から「6」に変更。
- ・ 「女子美の教養」の兼任・兼任教員を「6」から「14」に変更。
- ・ 「プロジェクト・スタディーズ」の兼任・兼任教員を「3」から「5」に変更。
- ・ 「Joshibi Foundation English A」の兼任・兼任教員を「4」から「5」に変更。
- ・ 「Joshibi Foundation English B」の兼任・兼任教員を「4」から「5」に変更。
- ・ 「フランス語IA」の兼任・兼任教員を「1」から「3」に変更。
- ・ 「フランス語IB」の兼任・兼任教員を「1」から「3」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習I-A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習I-C」の兼任・兼任教員を「4」から「6」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習I-G」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「ライフマネジメント論I」の兼任・兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・ 「デザイン基礎集中演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更、兼任・兼任教員を「1」から「2」に変更。
- ・ 「プログラミング演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「自律的キャリア教育」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 「産官学連携演習」の科目名を「産官学連携演習I」に変更。加えて「産官学連携演習II」(開講時期「2・3通」、単位数を選択「2」、教授「3」准教授「3」助教「2」)、「産官学連携演習III」(開講時期「3通」、単位数を選択「2」、教授「3」准教授「3」助教「2」)を追加。
- ・ 「共創デザイン選択演習II-B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習II-D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「ライフマネジメント論III-B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習III-D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。

<専任教員就任辞退に伴う後任任用および専任教員就任延期のための変更>

- ・ 「共創デザイン実践I」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」、「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・ 「共創デザイン概論」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・ 「コミュニケーション特論I」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更、兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・ 「産官学連携演習I」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「助教0」から「助教2」に変更、兼任・兼任教員を「4」から「5」に変更。
- ・ 「産官学連携実践」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習II-C」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン実践II」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・ 「ライフマネジメント論II-B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習II-A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習III-A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン実践III」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・ 「ライフマネジメント論III-A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習III-A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習応用III-Ea」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習応用III-Eb」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・ 「共創デザイン実践IV」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・ 「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・ 「ライフマネジメント論IV-A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・ 「ライフマネジメント論IV-B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。

<授業運営上の都合のための変更>

- ・ 「地域共創学」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・ 「博物館概論」の兼任・兼任教員を「2」から「1」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習I-B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授0」から「准教授1」に変更、兼任・兼任教員を「3」から「0」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習I-E」と「共創デザイン演習I-F」の授業内容および担当教員を入れ換え。これにより「共創デザイン演習I-E」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教1」、兼任・兼任教員を「3」から「2」に変更。また、「共創デザイン演習I-F」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」、「助教0」から「助教2」、兼任・兼任教員を「2」から「3」に変更。
- ・ 「共創デザイン演習I-H」の専任教員等の配置に「教授0」から「教授1」に変更、兼任・兼任教員を「2」から「0」に変更。
- ・ 「共創デザイン実践I」の兼任・兼任教員を「2」から「0」に変更。
- ・ 「共創デザイン概論」の兼任・兼任教員を「6」から「4」に変更。
- ・ 「ビジネスデザイン概論」の専任教員等の配置に「教授1」から「教授0」に変更。
- ・ 「共創デザイン実践II」の兼任・兼任教員を「2」から「0」に変更。
- ・ 「人間工学(スペース&プロダクト)」の兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・ 「感性異分野共創論I」の兼任・兼任教員を「7」から「1」に変更。
- ・ 「共創デザイン実践III」の兼任・兼任教員を「2」から「0」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習応用III-Da」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・ 「共創デザイン選択演習応用III-Db」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・ 「感性異分野共創論II」の兼任・兼任教員を「7」から「1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	158 科目	0 科目	192 科目	34 科目 [ 0 ]	160 科目 [ 2 ]	0 科目 [ 0 ]	194 科目 [ 2 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム (新カリキュラム) の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム (旧カリキュラム) の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	東洋美術史特論B	2	1～3	一般	選択	教育効果・時間割編成を考慮し、次年度(令和6年度)開講予定。 履修配当年次が1～3年次のため、教育上の支障はない。
2	デザイン史B	2	1～3	一般	選択	教育効果・時間割編成を考慮し、次年度(令和6年度)開講予定。 履修配当年次が1～3年次のため、教育上の支障はない。
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本学の時間割は、実技・演習系(専門系)科目の開設時間帯を1・3年次は3・4時限(午後)、2・4年次は1・2時限(午前)に設定している(授業時間帯は1～5時限)。講義系の科目は原則上記時間帯とは異なる時間帯に開設することから、配当年次を1～3年次としている場合でも、午前・午後等バランスよく開設する必要がある。今年度未開講の科目はこのことによる理由が大きい。また、年次進行で解消することから履修への影響はないと考える。学生への周知方法は配布する時間割表等で行っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{192} = \boxed{1.04} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	女子美術大学短期大学 部（必要面積3,600 ㎡）と共用			
	校 舎 敷 地	59,106.42㎡	19,214.08㎡	— ㎡	78,320.50㎡				
	運 動 場 用 地	— ㎡	42,268.25㎡	— ㎡	42,268.25㎡				
	小 計	59,106.42㎡	61,482.33㎡	— ㎡	120,588.75㎡				
	そ の 他	961.00㎡	4,384.76㎡	— ㎡	5,345.76㎡				
	合 計	60,067.42㎡	65,867.09㎡	— ㎡	125,934.51㎡				
(2) 校 舎	専 用	50,762.57㎡	23,228.60㎡	— ㎡	73,991.17㎡	女子美術大学短期大学 部（必要面積3,750 ㎡）と共用			
	(50,762.57㎡)	(23,228.60㎡)	( — ㎡)	(73,991.17㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	27室 28室	45室	260室 259室	10室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)	大学全体 女子美術大学短期大学 部と共用 女子美術大学短期大学 部専攻科の学生受入減 に伴い、臨時対応とし て設けていた実験実習 1室を講義室1教室に変 更した(5)		
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			左記は共同研究室1室			
	共創デザイン学科		1 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 は、以下のとおり。 図書 404,644 [72,168] (394,478 [70,492]) 学術雑誌 472 [134] (472 [134]) 視聴覚資料 6,548 (6,308) 女子美術大学短期大学 部と共用 修学環境の改善及び修 学前の環境整備による 変更(5)	
		共創デザイン学科	3,497 [842] (807 [194])	— [ — ] (— [ — ])	— [ — ] (— [ — ])	104 (24)	6,279 6,480 <del>(6,120)</del> (6,324)		— ( — )
	計	3,497 [842] (807 [194])	— [ — ] (— [ — ])	— [ — ] (— [ — ])	104 (24)	6,279 6,480 <del>(6,120)</del> (6,324)	— ( — )		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	4,175.61㎡		449		372,728				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					図書館は女子美術大学 短期大学部と併用	
	885.80㎡		多 目 的 運 動 場 10,400 ㎡ テ ニ ス コ ー ト 3 面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 大学全体での共用分の 図書費は、大学全体の 総額21,956千円/年の うち、17,126~18,728 千円/年
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	4,830千円	4,830千円	3,228千円	
		共同研究費等	1,500千円	1,500千円	設備購入費	55,354千円 120,152千円	75,234千円 25,000千円	29,704千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体での共用分の 図書費には電子ジャー ナル・データベースの 整備費（運用コスト含 む）を含む。 修学環境の改善及び修 学前の環境整備による 変更(5)	
		1,888千円	1,691千円	1,691千円	1,691千円	—	—		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						



- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学等の名称	女子美術大学	平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	1			
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
芸術学部 美術学科	4年	190人	3年次14	788人	学士(芸術)	1.14倍	-	1.14倍	1.10倍	-	平成22年度	神奈川県相模原市南区麻溝台1900番地	
デザイン・工芸学科	4年	220人	3年次16	912人	学士(芸術)	1.10倍	-	1.09倍	1.06倍	-	平成22年度	同上	
アート・デザイン表現学科	4年	160人	3年次10	660人	学士(芸術)	1.14倍	-	1.16倍	1.12倍	-	平成22年度	東京都杉並区和田1丁目49番8号	
共創デザイン学科	4年	60人	-	240人	学士(芸術)	1.03倍	-	1.03倍	-	-	令和5年度	同上	
大学全体	4年	630人	3年次40	2600人	-	-	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部等の名称、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



5 教員組織の状況

<芸術学部 共創デザイン学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 博子 (62) <令和5年4月> 芸術学士
		共創デザイン演習 I-E  共創デザイン実践 I 共創デザイン概論  産官学連携演習 産官学連携実践  共創デザイン実践 II ライフマネジメント論 II-A ライフマネジメント論 II-B  共創デザイン選択演習 II-B 共創デザイン演習 II-F 人間工学(ｽﾊﾟｰｽ&ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ)  留学認定科目A 留学認定科目B 留学認定科目C 留学認定科目D 留学認定科目E  共創デザイン実践 III ライフマネジメント論 III-A  共創デザイン選択演習 III-B 共創デザイン選択演習応用 III-Ca 共創デザイン選択演習応用 III-Ea 共創デザイン選択演習応用 III-Eb  共創デザイン実践 IV 卒業研究 ライフマネジメント論 IV-A ライフマネジメント論 IV-B
専	教授	瀧澤(安部) 奈美 (51) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習 I-C 共創デザイン実践 I 共創デザイン概論 産官学連携演習 産官学連携実践 共創デザイン演習 II-C 共創デザイン実践 II ライフマネジメント論 II-B 共創デザイン選択演習 II-A 共創デザイン演習 III-A 共創デザイン実践 III ライフマネジメント論 III-A 共創デザイン選択演習 III-A 共創デザイン選択演習応用 III-Ea 共創デザイン選択演習応用 III-Eb 共創デザイン実践 IV 卒業研究 ライフマネジメント論 IV-A ライフマネジメント論 IV-B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 博子 (63) <令和5年4月> 芸術学士
		共創デザイン演習 I-A 共創デザイン演習 I-B 共創デザイン演習 I-F 共創デザイン演習 I-H 共創デザイン実践 I 共創デザイン概論 デザイン基礎集中演習 自律的キャリア教育 産官学連携演習 I 産官学連携実践 共創デザイン演習 II-C 共創デザイン実践 II ライフマネジメント論 II-A ライフマネジメント論 II-B 共創デザイン選択演習 II-A 共創デザイン選択演習 II-B 共創デザイン演習 II-F 人間工学(ｽﾊﾟｰｽ&ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ) 産官学連携演習 II 留学認定科目A 留学認定科目B 留学認定科目C 留学認定科目D 留学認定科目E 共創デザイン演習 III-A 共創デザイン実践 III ライフマネジメント論 III-A 共創デザイン選択演習 III-A 共創デザイン選択演習 III-B 共創デザイン選択演習応用 III-Ca 共創デザイン選択演習応用 III-Ea 共創デザイン選択演習応用 III-Eb 産官学連携演習 III 共創デザイン実践 IV 卒業研究 ライフマネジメント論 IV-A ライフマネジメント論 IV-B
専	教授	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	遠山 正道 (60) <令和5年4月> 商学学士
		共創デザイン実践 I 共創デザイン概論 ビジネスデザイン概論 産官学連携演習 共創デザイン実践 II 共創デザイン演習 III-B 共創デザイン実践 III 共創デザイン選択演習応用 III-Aa 共創デザイン選択演習応用 III-Ab  共創デザイン実践 IV 卒業研究 ライフマネジメント論 IV-A ライフマネジメント論 IV-B
兼任	講師	山田 夏子(藤田 美奈子) (48) <令和5年4月> 学士(造形)
		コミュニケーション特論 I
専	准教授	唐見(田上) 麻由香 (46) <令和5年4月> 短期大学卒
		共創デザイン演習 I-F 共創デザイン実践 I 共創デザイン概論  産官学連携演習  共創デザイン実践 II 共創デザイン選択演習 II-C  共創デザイン実践 III  共創デザイン選択演習 III-B 共創デザイン選択演習 III-B 共創デザイン選択演習応用 III-Ea 共創デザイン選択演習応用 III-Eb  共創デザイン実践 IV 卒業研究 ライフマネジメント論 IV-A ライフマネジメント論 IV-B

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	遠山 正道 (61) <令和5年4月> 商学学士
		共創デザイン実践 I 共創デザイン概論  産官学連携演習 I 共創デザイン実践 II <b>産官学連携演習 II</b> 共創デザイン演習 III-B 共創デザイン実践 III 共創デザイン選択演習応用 III-Aa 共創デザイン選択演習応用 III-Ab <b>産官学連携演習 III</b> 共創デザイン実践 IV 卒業研究 ライフマネジメント論 IV-A ライフマネジメント論 IV-B
専	教授	山田 夏子(藤田 美奈子) (49) <令和5年4月> 学士(造形)
		<b>共創デザイン演習 I-C</b> <b>共創デザイン概論</b> コミュニケーション特論 I <b>産官学連携演習 I</b> <b>産官学連携演習 II</b> <b>産官学連携演習 III</b>
専	准教授	唐見(田上) 麻由香 (47) <令和5年4月> <b>修士(福祉社会実践学)</b>
		<b>共創デザイン演習 I-A</b> <b>共創デザイン演習 I-B</b> 共創デザイン演習 I-E 共創デザイン実践 I 共創デザイン概論 <b>デザイン基礎集中演習</b> <b>自律的キャリア教育</b> 産官学連携演習 I <b>共創デザイン演習 II-C</b> 共創デザイン実践 II <b>共創デザイン選択演習 II-A</b> 共創デザイン選択演習 II-C <b>産官学連携演習 II</b> 共創デザイン実践 III <b>ライフマネジメント論 III-B</b> <b>共創デザイン選択演習 III-A</b> 共創デザイン選択演習 III-B 共創デザイン選択演習応用 III-Ea 共創デザイン選択演習応用 III-Eb <b>産官学連携演習 III</b> 共創デザイン実践 IV 卒業研究 ライフマネジメント論 IV-A ライフマネジメント論 IV-B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	千木良(石川) 康子 (38) <令和5年4月> 学士(工学)
		共創デザイン実践Ⅰ 共創デザイン概論 産官学連携演習 共創デザイン実践Ⅱ ライフマネジメント論Ⅱ-A 共創デザイン演習Ⅱ-F コミュニケーション特論Ⅲ 共創デザイン実践Ⅲ 共創デザイン選択演習Ⅲ-B 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb 共創デザイン実践Ⅳ 卒業研究 ライフマネジメント論Ⅳ-A ライフマネジメント論Ⅳ-B
専	准教授	羽田 成宏 (43) <令和5年4月> 修士(工学)
		共創デザイン演習Ⅰ-G 共創デザイン実践Ⅰ 共創デザイン概論 プログラミング演習 産官学連携演習 共創デザイン実践Ⅱ 共創デザイン選択演習Ⅱ-D 共創デザイン実践Ⅲ 共創デザイン選択演習Ⅲ-D 共創デザイン実践Ⅳ 卒業研究 ライフマネジメント論Ⅳ-A ライフマネジメント論Ⅳ-B

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	千木良(石川) 康子 (39) <令和6年4月> 学士(工学)
		共創デザイン実践Ⅱ ライフマネジメント論Ⅱ-A 共創デザイン演習Ⅱ-F コミュニケーション特論Ⅲ 産官学連携演習Ⅱ 共創デザイン実践Ⅲ 共創デザイン選択演習Ⅲ-B 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb 産官学連携演習Ⅲ 共創デザイン実践Ⅳ 卒業研究 ライフマネジメント論Ⅳ-A ライフマネジメント論Ⅳ-B
専	准教授	羽田 成宏 (44) <令和5年4月> 修士(工学)
		共創デザイン演習Ⅰ-G 共創デザイン実践Ⅰ 共創デザイン概論 プログラミング演習 産官学連携演習Ⅰ 共創デザイン実践Ⅱ 共創デザイン選択演習Ⅱ-D 産官学連携演習Ⅱ 共創デザイン実践Ⅲ 共創デザイン選択演習Ⅲ-D 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Da 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Db 産官学連携演習Ⅲ 共創デザイン実践Ⅳ 卒業研究 ライフマネジメント論Ⅳ-A ライフマネジメント論Ⅳ-B
専	助教	磯村 香那 (33) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅰ-A 共創デザイン演習Ⅰ-E 共創デザイン演習Ⅰ-F 産官学連携演習Ⅰ 共創デザイン選択演習Ⅱ-B 産官学連携演習Ⅱ 共創デザイン選択演習Ⅲ-D 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea 産官学連携演習Ⅲ
専	助教	代市 成美 (30) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅰ-F 共創デザイン演習Ⅰ-G プログラミング演習 産官学連携演習Ⅰ 共創デザイン選択演習Ⅱ-D 産官学連携演習Ⅱ 共創デザイン選択演習Ⅲ-D 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb 産官学連携演習Ⅲ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	奥山 亜喜子 (52) <令和5年4月> 修士(法学)※
		女子美基礎講座 女子美の教養 女性と法 人権・ダイバーシティとアート プロジェクト・スタディーズ アーティスト・イン・レジデンス 国際芸術プログラム インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4 感性異分野共創論II
兼任	教授	小林 篤志 (56) <令和5年4月> 修士(文学)
		コミュニケーション論 言語学 Joshibi Foundation English A Joshibi Foundation English B Joshibi Global English A Joshibi Global English B
兼任	教授	Deniss Linda Anne (59) <令和6年4月> 博士(美術)
		ジェンダーとアート研究 プロジェクト・スタディーズ
兼任	教授	日沼 禎子 (53) <令和5年4月> 芸術学士
		アーティスト・イン・レジデンス概論 博物館概論 感性異分野共創論II
兼任	教授	福土 朋子 (54) <令和6年4月> 博士(美術)
		感性異分野共創論I
兼任	教授	三谷(黒田) 理華 (54) <令和5年4月> 修士(文学)・MASTER(Specialite HISTOIRE DE L'ART) フランス
		女子美の教養 博物館概論 感性異分野共創論II
兼任	教授	村岡 貴美男 (55) <令和6年4月> 芸術学修士※
		感性異分野共創論I
兼任	准教授	荒 姿寿 (42) <令和6年4月> 修士(美術)
		感性異分野共創論I
兼任	准教授	加藤(浅野) 尚子 (49) <令和6年4月> 学士(芸術)
		感性異分野共創論I

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	奥山 亜喜子 (53) <令和5年4月> 修士(法学)※
		女子美基礎講座 女子美の教養 女性と法 人権・ダイバーシティとアート アーティスト・イン・レジデンス 国際芸術プログラム インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4
兼任	教授	小林 篤志 (57) <令和5年4月> 修士(文学)
		言語学
兼任	教授	Deniss Linda Anne (60) <令和6年4月> 博士(美術)
		ジェンダーとアート研究 プロジェクト・スタディーズ
兼任	教授	日沼 禎子 (54) <令和5年4月> 芸術学士
		アーティスト・イン・レジデンス概論 博物館概論
兼任	教授	
兼任	教授	三谷(黒田) 理華 (55) <令和5年4月> 修士(文学)・MASTER(Specialite HISTOIRE DE L'ART) フランス
		女子美の教養 <b>西洋美術史特論B</b>
兼任	教授	
兼任	准教授	荒 姿寿 (43) <b>&lt;令和5年4月&gt;</b> 修士(美術)
		<b>プロジェクト・スタディーズ</b>
兼任	准教授	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Cosgrove Simon James (39) <令和5年4月> MA(Dept. of Music)アメリカ
		女子美の教養 音楽とアート 芸術学C Joshibi Foundation English A Joshibi Foundation English B English in Film and the Performing Arts A English in Film and the Performing Arts B
兼任	准教授	榎山(藤原) 満照 (44) <令和5年4月> 博士(文学)
		女子美の教養 古美術研究 感性異分野共創論Ⅱ
兼任	准教授	保高 一仁 (41) <令和5年4月> 修士(芸術)
		表現と癒しの営み
兼任	助教	帆足 枝里子 (33) <令和6年4月> 博士(美術)
		感性異分野共創論Ⅰ
兼任	講師	赤池 宏文 (44) <令和6年4月> 学士(造形)
		共創デザイン選択演習Ⅱ-C
兼任	講師	阿久津 望 (36) <令和5年4月> 専門学校卒
		共創デザイン演習Ⅰ-C 共創デザイン選択演習Ⅱ-A
兼任	講師	明山 淳也 (46) <令和7年4月> 学士(工学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Aa 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ab

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	Cosgrove Simon James (40) <令和5年4月> MA(Dept. of Music)アメリカ
		女子美の教養 音楽とアート 芸術学C Joshibi Foundation English A Joshibi Foundation English B English in Film and the Performing Arts A English in Film and the Performing Arts B
兼任	准教授	田中 理恵子 (46) <令和5年4月> 博士(学術)
		女子美の教養 文化人類学
兼任	准教授	榎山(藤原) 満照 (45) <令和5年4月> 博士(文学)
		女子美の教養 古美術研究
兼任	准教授	保高 一仁 (42) <令和5年4月> 修士(芸術)
		表現と癒しの営み
兼任	准教授	宗像 花草 (44) <令和5年4月> 修士(英語教授法)
		Joshibi Foundation English A Joshibi Foundation English B Joshibi Global English A Joshibi Global English B English Conversation A English Conversation B
兼任	講師	潘 逸舟 (35) <令和5年4月> 修士(芸術表現)
		アーティスト・イン・レジデンス概論
兼任	講師	赤池 宏文 (45) <令和6年4月> 学士(造形)
		共創デザイン選択演習Ⅱ-C
兼任	講師	阿久津 望 (37) <令和5年4月> 専門学校卒
		共創デザイン演習Ⅰ-C 共創デザイン選択演習Ⅱ-A
兼任	講師	明山 淳也 (47) <令和7年4月> 学士(工学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Aa 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ab

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浅沼 尚 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		産官学連携演習
兼任	講師	阿部 宏史 (47) <令和5年4月> 学士(文学)
		印刷概論
兼任	講師	新江(海老澤) 京子 (41) <令和5年4月> 修士(文学)※
		日本美術史特論B
兼任	講師	栗田 大輔 (45) <令和5年4月> 博士(美術)
		現代美術論
兼任	講師	安念 有加 (49) <令和6年4月> Bachelor of Scienceアメリカ
		コミュニケーション特論Ⅲ
兼任	講師	飯田 茉純 (26) <令和5年4月> 学士(芸術)
		書道A 書道B 感性異分野共創論Ⅱ
兼任	講師	伊澤(夏目) 佑美 (41) <令和5年4月> 学士(文学)
		コミュニケーション特論Ⅰ
兼任	講師	石神 夏希 (41) <令和7年4月> 修士(ネットワークコミュニティ)
		感性異分野共創論Ⅱ
兼任	講師	石上 涉 (44) <令和5年4月> 学士(医療経営)
		ビジネスデザイン概論
兼任	講師	石橋 勝利 (56) <令和5年4月> 学士(言語・文化)
		自律的キャリア教育 コミュニケーション特論Ⅱ
兼任	講師	井戸 健二 (49) <令和6年4月> 修士(工学)
		人間工学 (ｽﾍﾞｰｽ&ｱﾌﾟﾘｶｰｼｮﾝ)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	阿部 宏史 (48) <令和5年4月> 学士(文学)
		印刷概論
兼任	講師	新江(海老澤) 京子 (42) <令和5年4月> 修士(文学)※
		日本美術史特論B
兼任	講師	栗田 大輔 (46) <令和5年4月> 博士(美術)
		現代美術論
兼任	講師	安念 有加 (50) <令和6年4月> Bachelor of Scienceアメリカ
		コミュニケーション特論Ⅲ
兼任	講師	飯田 茉純 (27) <令和5年4月> 学士(芸術)
		書道A 書道B
兼任	講師	伊澤(夏目) 佑美 (42) <令和5年4月> 学士(文学)
		コミュニケーション特論Ⅰ
兼任	講師	石神 夏希 (42) <令和7年4月> 修士(ネットワークコミュニティ)
		感性異分野共創論Ⅱ
兼任	講師	石上 涉 (45) <令和5年4月> 学士(医療経営)
		ビジネスデザイン概論
兼任	講師	石橋 勝利 (57) <令和5年4月> 学士(言語・文化)
		自律的キャリア教育 コミュニケーション特論Ⅱ
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊東 賢司 (31) ＜令和5年4月＞ 学士(経済学)
		産官学連携演習
兼任	講師	伊藤 恒平 (44) ＜令和6年4月＞ 学士(工学)
		共創デザイン演習Ⅱ-B
兼任	講師	伊藤 太一 (40) ＜令和5年4月＞ 学士(デザイン工学)
		共創デザイン演習Ⅰ-E 共創デザイン選択演習Ⅱ-B
兼任	講師	伊東 圭昌 (53) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		産官学連携演習
兼任	講師	稲葉 和栄 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(人文科学)
		異文化理解 日本語A 日本語B
兼任	講師	今村 純子 (55) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		哲学 思想史
兼任	講師	上殿 康子 (34) ＜令和5年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅰ-E 共創デザイン選択演習Ⅱ-B
兼任	講師	上野 祥史 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		比較文化論 文化遺産学
兼任	講師	内野 博子 (52) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		西洋美術史特論C 美学

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊東 賢司 (32) ＜令和5年4月＞ 学士(経済学)
		産官学連携演習Ⅰ
兼任	講師	伊藤 恒平 (45) ＜令和6年4月＞ 学士(工学)
		共創デザイン演習Ⅱ-B
兼任	講師	伊藤 太一 (41) ＜令和5年4月＞ 学士(デザイン工学)
		共創デザイン演習Ⅰ-F 共創デザイン選択演習Ⅱ-B
兼任	講師	伊藤 貴弘 (37) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		写真史
兼任	講師	伊東 圭昌 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		産官学連携演習
兼任	講師	稲葉 和栄 (52) ＜令和5年4月＞ 修士(人文科学)
		異文化理解 日本語A 日本語B
兼任	講師	今村 純子 (56) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		女子美の教養 哲学 思想史
兼任	講師	入江(青木) あずさ (62) ＜令和5年4月＞ 学士(造形)
		共創デザイン演習Ⅰ-C 産官学連携演習Ⅰ
兼任	講師	上殿 康子 (35) ＜令和5年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅰ-F 共創デザイン選択演習Ⅱ-B
兼任	講師	上野 祥史 (49) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		比較文化論 文化遺産学
兼任	講師	内野 博子 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		西洋美術史特論C 美学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梅田(岩崎) 亜由美 (45) ＜令和6年4月＞ 修士(人間・環境学)
		環境とアート
兼任	講師	江上 さくら (27) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		ライフマネジメント論Ⅲ-B
兼任	講師	遠藤 久美子 (50) ＜令和5年4月＞ 学士(芸術)
		インクルーシブデザイン論
兼任	講師	遠藤 美穂子 (48) ＜令和5年4月＞ 学士(経済学)
		キャリア形成A キャリア形成B キャリア形成C キャリア形成D
兼任	講師	大熊 裕美子 (52) ＜令和6年4月＞ 芸術学士
		共創デザイン演習Ⅱ-B
兼任	講師	大谷 省悟 (37) ＜令和7年4月＞ 学士(商学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Cb
兼任	講師	大谷 智子 (45) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		心理学
兼任	講師	大友 聡 (44) ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		共創デザイン選択演習Ⅱ-B
兼任	講師	大庭 香江 (52) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※
		Joshihi Foundation English A Joshihi Foundation English B
兼任	講師	岡崎 浩二 (41) ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		キャリア形成A キャリア形成B キャリア形成C キャリア形成D

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	梅田(岩崎) 亜由美 (46) ＜令和6年4月＞ 修士(人間・環境学)
		環境とアート
兼任	講師	江上 さくら (28) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		ライフマネジメント論Ⅲ-B
兼任	講師	遠藤 久美子 (51) ＜令和5年4月＞ 学士(芸術)
		インクルーシブデザイン論 <b>産官学連携演習 I</b>
兼任	講師	遠藤 美穂子 (49) ＜令和5年4月＞ 学士(経済学)
		キャリア形成A キャリア形成B キャリア形成C キャリア形成D
兼任	講師	<b>生沼 みなみ</b> (26) ＜令和5年4月＞ 芸術学士
		<b>スポーツ演習B</b>
兼任	講師	大熊 裕美子 (53) ＜令和6年4月＞ 芸術学士
		共創デザイン演習Ⅱ-B
兼任	講師	大谷 省悟 (38) ＜令和7年4月＞ 学士(商学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Cb
兼任	講師	大谷 智子 (46) ＜令和5年4月＞ 博士(心理学)
		<b>女子美の教養</b> 心理学
兼任	講師	大友 聡 (45) ＜令和6年4月＞ 専門学校卒
		共創デザイン選択演習Ⅱ-B
兼任	講師	大庭 香江 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※
		Joshihi Foundation English A Joshihi Foundation English B
兼任	講師	岡崎 浩二 (42) ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		キャリア形成A キャリア形成B キャリア形成C キャリア形成D



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡宮 由樹 (45) <令和5年4月> 修士(工学)
		共創デザイン演習 I-G 共創デザイン選択演習 II-D
兼任	講師	小川 佳代子 (55) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		スポーツ演習 A スポーツ演習 B 健康科学 A 健康科学 B
兼任	講師	越智 郁乃 (43) <令和5年4月> 博士(学術)
		文化人類学
兼任	講師	乙葉 茂 (57) <令和5年4月> 専門学校卒
		共創デザイン演習 I-H 共創デザイン概論 共創デザイン選択演習応用 III-Da 共創デザイン選択演習応用 III-Db
兼任	講師	織原 千絵 (53) <令和5年4月> 学士(造形)
		共創デザイン演習 I-H
兼任	講師	垣田 彩水 (29) <令和5年4月> Extended Diploma in Creative Media Production & Technologyイギリス
		共創デザイン演習 I-D
兼任	講師	加藤 修平 (34) <令和7年4月> 修士(哲学)
		ファシリテーション論
兼任	講師	金森(横山) 香 (48) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Honours) イギリス
		地域共創学 アーティスト・イン・レジデンス概論
兼任	講師	金成 慧 (38) <令和5年4月> 博士(工学)
		数理科学

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡宮 由樹 (46) <令和5年4月> 修士(工学)
		共創デザイン演習 I-G 共創デザイン選択演習 II-D
兼任	講師	小川 佳代子 (56) <令和5年4月> 修士(保健福祉学)
		スポーツ演習 A 健康科学 A
兼任	講師	鬼塚 淳子 (61) <令和5年4月> 博士(学術)
		精神保健
兼任	講師	柿崎(日下部) 有美 (58) <令和5年4月> 文学修士
		フランス語 I A フランス語 I B フランス語 II A フランス語 II B
兼任	講師	垣田 彩水 (30) <令和5年4月> Extended Diploma in Creative Media Production & Technologyイギリス
		共創デザイン演習 I-D
兼任	講師	加藤 修平 (35) <令和7年4月> 修士(哲学)
		ファシリテーション論
兼任	講師	金森(横山) 香 (48) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Honours) イギリス
		地域共創学
兼任	講師	金成 慧 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		女子美の教養 数理科学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 智昭 (32) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		子ども発達論
兼任	講師	金子 日奈 (26) <令和7年4月> 学士(造形)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ba
兼任	講師	金田 静葉 (31) <令和5年4月> 学士(造形)
		共創デザイン演習Ⅰ-F
兼任	講師	Camacho Cruz Javier (45) <令和5年4月> 修士(歴史・美術史)
		西洋美術史特論A
兼任	講師	神森 真理子 (40) <令和6年4月> 学士(文学)
		感性異分野共創論Ⅰ 感性異分野共創論Ⅱ
兼任	講師	神谷 涉 (48) <令和6年4月> 博士(商学)
		行動デザイン論
兼任	講師	川畑 耕平 (48) <令和5年4月> 修士(芸術工学)
		デザイン史A デザイン史B インテリアデザイン史
兼任	講師	川又 伸彦 (62) <令和5年4月> 法学修士※
		法学(日本国憲法)
兼任	講師	川村 雅徳 (58) <令和5年4月> 文学士
		カラーコーディネート基礎
兼任	講師	岸本 純 (25) <令和5年4月> 学士(経営)
		共創デザイン演習Ⅰ-C 共創デザイン選択演習Ⅱ-A
兼任	講師	喜多尾 浩代 (60) <令和5年4月> 博士(医学)
		身体とアート 身体機能論

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 智昭 (33) <令和5年4月> 修士(教育学)※
		子ども発達論
兼任	講師	
兼任	講師	金田 静葉 (32) <令和5年4月> 学士(造形)
		共創デザイン演習Ⅰ-E
兼任	講師	Camacho Cruz Javier (46) <令和5年4月> 修士(歴史・美術史)
		西洋美術史特論A
兼任	講師	神森 真理子 (41) <令和6年4月> 学士(文学)
		感性異分野共創論Ⅰ
兼任	講師	神谷 涉 (49) <令和6年4月> 博士(商学)
		行動デザイン論
兼任	講師	川畑 耕平 (49) <令和5年4月> 修士(芸術工学)
		デザイン史A デザイン史B インテリアデザイン史
兼任	講師	川又 伸彦 (63) <令和5年4月> 法学修士※
		女子美の教養 法学(日本国憲法)
兼任	講師	川村 雅徳 (59) <令和5年4月> 文学士
		カラーコーディネート基礎
兼任	講師	岸本 純 (26) <令和5年4月> 学士(経営)
		共創デザイン演習Ⅰ-C 共創デザイン選択演習Ⅱ-A
兼任	講師	喜多尾 浩代 (61) <令和5年4月> 博士(医学)
		身体とアート 身体機能論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木本 梨絵 (29) ＜令和7年4月＞ 学士(造形)
		共創デザイン演習Ⅲ-B
兼任	講師	Glinn Patrick Raphael (48) ＜令和5年4月＞ Master of Music アメリカ
		English Conversation A English Conversation B
兼任	講師	小祝 誉士夫 (49) ＜令和5年4月＞ 学士(経済)
		共創デザイン演習Ⅰ-A 共創デザイン選択演習Ⅲ-C
兼任	講師	小玉 千陽 (30) ＜令和5年4月＞ 学士(工学)
		共創デザイン概論 共創デザイン選択演習Ⅲ-A 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea
兼任	講師	後藤 浩介 (58) ＜令和6年4月＞ 修士(環境学)
		プロジェクト・スタディーズ
兼任	講師	小林 亜子 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		歴史学
兼任	講師	小林 紗也 (28) ＜令和5年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅰ-B
兼任	講師	小林(藤野) 洋子 (47) ＜令和6年4月＞ 修士(都市計画)
		行動デザイン論
兼任	講師	古原 徹 (37) ＜令和5年4月＞ 修士(工学)
		インクルーシブデザイン論
兼任	講師	齋藤(飯田) 綾 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(美術)
		図学B

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	木本 梨絵 (30) ＜令和7年4月＞ 学士(造形)
		共創デザイン演習Ⅲ-B
兼任	講師	慶野 結香 (33) ＜令和5年4月＞ 修士(学際情報学)
		7-ティスト・イン・レジデンス概論
兼任	講師	小祝 誉士夫 (50) ＜令和5年4月＞ 学士(経済)
		共創デザイン演習Ⅰ-A 共創デザイン選択演習Ⅲ-C
兼任	講師	小玉 千陽 (31) ＜令和5年4月＞ 学士(工学)
		共創デザイン概論 共創デザイン選択演習Ⅲ-A 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea
兼任	講師	後藤 浩介 (59) ＜令和6年4月＞ 修士(環境学)
		プロジェクト・スタディーズ
兼任	講師	小林 亜子 (62) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)※
		歴史学
兼任	講師	小林(藤野) 洋子 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(都市計画)
		共創デザイン概論 行動デザイン論
兼任	講師	古原 徹 (38) ＜令和5年4月＞ 修士(工学)
		インクルーシブデザイン論
兼任	講師	齋藤(飯田) 綾 (51) ＜令和5年4月＞ 修士(美術)
		図学A 図学B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齋藤(篠塚) 慈子 (44) <令和5年4月> 博士(学術)
		行動心理学
兼任	講師	櫻井 夕里子 (47) <令和5年4月> 修士(文学)※
		西洋美術史概説
兼任	講師	佐藤 真澄 (52) <令和5年4月> 短期大学卒
		プロジェクト・スタディーズ
兼任	講師	佐藤(村上) 紀子 (47) <令和5年4月> 博士(美術)
		図学A
兼任	講師	重松 佑 (41) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン選択演習Ⅱ-A
兼任	講師	柴崎 由美子 (49) <令和6年4月> 学士(芸術)
		環境とアート
兼任	講師	地曳 慶一 (51) <令和5年4月> Master of Lawsアメリカ
		共創デザイン概論 知財・ファイナンス概論
兼任	講師	渋谷 聡子 (47) <令和5年4月> 修士(宗教学)
		共創デザイン概論 ライフマネジメント論Ⅳ-A
兼任	講師	下田(南出) 倫子 (49) <令和5年4月> 学士(芸術)
		環境論
兼任	講師	庄司 拓也 (52) <令和5年4月> 修士(史学)※
		社会福祉学

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	齋藤(篠塚) 慈子 (45) <令和5年4月> 博士(学術)
		行動心理学
兼任	講師	櫻井 夕里子 (48) <令和5年4月> 修士(文学)※
		西洋美術史概説
兼任	講師	佐藤 久仁子 (49) <令和5年4月> 修士(文学)
		フランス語ⅠA フランス語ⅠB フランス語ⅡA フランス語ⅡB
兼任	講師	佐藤 真澄 (53) <令和5年4月> 短期大学卒
		プロジェクト・スタディーズ
兼任	講師	重松 佑 (42) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン選択演習Ⅱ-A
兼任	講師	柴崎 由美子 (50) <令和6年4月> 学士(芸術)
		環境とアート
兼任	講師	地曳 慶一 (52) <令和5年4月> Master of Laws アメリカ
		知財・ファイナンス概論
兼任	講師	渋谷 聡子 (48) <令和5年4月> 修士(宗教学)
		共創デザイン概論 ライフマネジメント論Ⅳ-A
兼任	講師	下田(南出) 倫子 (50) <令和5年4月> 学士(芸術)
		環境論
兼任	講師	庄司 拓也 (53) <令和5年4月> 修士(史学)※
		社会福祉学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	白幡 香織 (49) <令和5年4月> 準学士(芸術)
		情報メディア基礎演習
兼任	講師	鈴木 清重 (50) <令和5年4月> 博士(心理学)
		造形心理学
兼任	講師	高木 麻紀子 (41) <令和5年4月> 博士(美術)
		西洋美術史特論B
兼任	講師	高口 裕之 (52) <令和7年4月> 修士(経営学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Bb
兼任	講師	瀧沢 真美 (61) <令和5年4月> 修士(家政学)
		共創デザイン演習 I-E 共創デザイン演習 I-F
兼任	講師	竹内 裕明 (61) <令和7年4月> 学士(法律学)
		知財・ファイナンシャル概論
兼任	講師	田中 準也 (54) <令和7年4月> 工学士
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ba
兼任	講師	谷口 英理 (46) <令和5年4月> 博士(美術)
		日本美術史特論C
兼任	講師	田村 真輝 (35) <令和5年4月> 学士(経済)
		Joshihi Foundation English A Joshihi Foundation English B

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	白幡 香織 (50) <令和5年4月> 準学士(芸術)
		情報メディア基礎演習
兼任	講師	新行内 美和 (49) <令和5年4月> 修士(文学)
		女子美基礎講座
兼任	講師	鈴木 清重 (51) <令和5年4月> 博士(心理学)
		造形心理学
兼任	講師	高口 裕之 (53) <令和7年4月> 修士(経営学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Bb
兼任	講師	高橋 直子 (46) <令和5年4月> 博士(美術)
		女子美基礎講座
兼任	講師	瀧沢 真美 (62) <令和5年4月> 修士(家政学)
		共創デザイン演習 I-E 共創デザイン演習 I-F
兼任	講師	竹内 裕明 (62) <令和7年4月> 学士(法律学)
		知財・ファイナンシャル概論
兼任	講師	田中 準也 (55) <令和7年4月> 工学士
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ba
兼任	講師	谷口 英理 (47) <令和5年4月> 博士(美術)
		日本美術史特論C
兼任	講師	田村 真輝 (36) <令和5年4月> 学士(経済)
		Joshihi Foundation English A Joshihi Foundation English B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長 テノリ (59) <令和5年4月> 修士(学術)※
		ジェンダーとアート概論
兼任	講師	寺内 暁 (32) <令和5年4月> 学士(総合政策学)
		共創デザイン演習 I-C 共創デザイン選択演習 II-A
兼任	講師	富樫 宝子 (30) <令和6年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習 II-E 共創デザイン選択演習 III-C
兼任	講師	富田 京一 (55) <令和5年4月> 文学士
		生命科学
兼任	講師	Trautmann Matthias Frank (55) <令和5年4月> 専門学校卒
		ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B
兼任	講師	鳥越 良子 (39) <令和5年4月> 学士(教育)
		共創デザイン演習 II-A
兼任	講師	長尾 真紀子 (59) <令和5年4月> 博士(美術)
		芸術学 B
兼任	講師	中垣 まりも (46) <令和5年4月> 博士(美術)
		美術解剖学 A 美術解剖学 B
兼任	講師	永澤(小野) 桂 (47) <令和5年4月> 修士(教育学)
		女子美基礎講座 歴史の中の女性 ジェンダー論
兼任	講師	中島 彩花 (41) <令和5年4月> 博士(美術)
		日本美術史概説

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	長 テノリ (60) <令和5年4月> 修士(学術)※
		<b>女子美の教養</b> ジェンダーとアート概論
兼任	講師	<b>ディピロ 由紀子 (35) &lt;令和5年4月&gt; 学士(美術教育)</b>
		<b>Joshi Foundation English A Joshi Foundation English B</b>
兼任	講師	寺内 暁 (33) <令和5年4月> 学士(総合政策学)
		共創デザイン演習 I-C 共創デザイン選択演習 II-A
兼任	講師	富樫 宝子 (31) <令和6年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習 II-E 共創デザイン選択演習 III-C
兼任	講師	富田 京一 (56) <令和5年4月> 文学士
		<b>女子美の教養</b> 生命科学
兼任	講師	Trautmann Matthias Frank (56) <令和5年4月> 専門学校卒
		ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B
兼任	講師	鳥越 良子 (40) <令和5年4月> 学士(教育)
		共創デザイン演習 II-A
兼任	講師	長尾 真紀子 (60) <令和5年4月> 博士(美術)
		芸術学 B
兼任	講師	中垣 まりも (47) <令和5年4月> 博士(美術)
		美術解剖学 A 美術解剖学 B
兼任	講師	永澤(小野) 桂 (48) <令和5年4月> 修士(教育学)
		女子美基礎講座 <b>女子美の教養</b> 歴史の中の女性 ジェンダー論
兼任	講師	中島 彩花 (42) <令和5年4月> 博士(美術)
		日本美術史概説 <b>日本美術史特論A</b>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中務 貴之 (32) <令和6年4月> 学士(経営学)
		共創デザイン演習Ⅱ-D
兼任	講師	中野 仁詞(仁) (54) <令和5年4月> 修士(美学)
		芸術文化政策論
兼任	講師	中村 友美 (35) <令和5年4月> 学士(総合文化学)
		地域共創学 アーティスト・イン・レジデンス概論
兼任	講師	新見 友紀子 (44) <令和5年4月> 修士(農学)
		共創デザイン概論 ビジネスデザイン概論
兼任	講師	西尾 淳史 (49) <令和6年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅱ-B
兼任	講師	西口 雄基 (33) <令和5年4月> 博士(学術)
		教育心理学 青年心理学 精神保健
兼任	講師	沼下 桂子 (42) <令和5年4月> 修士(美術)
		女子美の教養
兼任	講師	野崎 互 (45) <令和7年4月> 修士(環境学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Aa 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ab
兼任	講師	野田 若菜 (48) <令和6年4月> 学士(芸術)
		情報とアート
兼任	講師	野村(川島) 佳世 (47) <令和5年4月> 修士(社会学)※
		国際関係論

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中臺 隆平 (44) <令和5年4月> 修士(美術)
		共創デザイン演習Ⅰ-C
兼任	講師	中務 貴之 (33) <令和6年4月> 学士(経営学)
		共創デザイン演習Ⅱ-D
兼任	講師	中野 仁詞(仁) (55) <令和5年4月> 修士(美学)
		芸術文化政策論
兼任	講師	新見 友紀子 (45) <令和5年4月> 修士(農学)
		ビジネスデザイン概論
兼任	講師	西尾 淳史 (50) <令和6年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅱ-B
兼任	講師	西口 雄基 (34) <令和5年4月> 博士(学術)
		教育心理学 青年心理学
兼任	講師	野崎 互 (46) <令和7年4月> 修士(環境学)
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Aa 共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ab
兼任	講師	野田 若菜 (49) <令和6年4月> 学士(芸術)
		情報とアート
兼任	講師	野村(川島) 佳世 (48) <令和5年4月> 修士(社会学)※
		女子美の教養 国際関係論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	羽鳥 裕之 (56) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb
兼任	講師	早川 弘佳 (35) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅲ-B
兼任	講師	原田 あゆみ (50) ＜令和5年4月＞ 修士(芸術学)※
		東洋美術史特論B
兼任	講師	平賀 愛子 (53) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン選択演習Ⅲ-B
兼任	講師	平野 智洋 (49) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※
		女子美の教養 日本美術史特論A
兼任	講師	風当 将文 (38) ＜令和5年4月＞ 学士(造形)
		ドローイング演習
兼任	講師	舟橋 桃代 (30) ＜令和6年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅱ-E 共創デザイン選択演習Ⅲ-C
兼任	講師	保科 千寿子 (44) ＜令和5年4月＞ 修士(美術)
		女子美基礎講座
兼任	講師	細矢 智寛 (33) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育原論
兼任	講師	猿若 清三郎(堀越 裕貴) (47) ＜令和5年4月＞ 高等学校卒
		伝統文化論
兼任	講師	増田 玲 (55) ＜令和5年4月＞ 国際学修士
		写真史

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	羽鳥 裕之 (57) ＜令和7年4月＞ 短期大学卒
		共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb
兼任	講師	早川 弘佳 (36) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅲ-B
兼任	講師	原田 あゆみ (51) ＜令和5年4月＞ 修士(芸術学)※
		東洋美術史特論B
兼任	講師	平賀 愛子 (54) ＜令和7年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン選択演習Ⅲ-B
兼任	講師	平野 智洋 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)※
		女子美基礎講座
兼任	講師	風当 将文 (39) ＜令和5年4月＞ 学士(造形)
		ドローイング演習
兼任	講師	舟橋 桃代 (31) ＜令和6年4月＞ 学士(芸術)
		共創デザイン演習Ⅱ-E 共創デザイン選択演習Ⅲ-C
兼任	講師	保科 千寿子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(美術)
		女子美基礎講座
兼任	講師	細矢 智寛 (34) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育原論
兼任	講師	猿若 清三郎(堀越 裕貴) (48) ＜令和5年4月＞ 高等学校卒
		伝統文化論



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松林 伸生 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		経済学
兼任	講師	松山 美欧 (28) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習 I-C 共創デザイン演習 II-C
兼任	講師	宮 江介 (61) <令和5年4月> 修士(農学)
		環境論
兼任	講師	宮本 和佐 (50) <令和5年4月> 学士(芸術)
		ドローイング演習
兼任	講師	宮本 由紀 (55) <令和6年4月> Master of Fine Arts アメリカ
		Joshihi Art English A Joshihi Art English B
兼任	講師	村松 哲文 (54) <令和5年4月> 修士(文学)※
		東洋美術史概説 東洋美術史特論A
兼任	講師	村山 潤子 (64) <令和6年4月> 学士(経済)
		ライフマネジメント論 II-A
兼任	講師	室内 美緒 (62) <令和5年4月> 学士(芸術)
		色彩学A 色彩学B

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松林 伸生 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		女子美の教養 経済学
兼任	講師	松山 美欧 (29) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン演習 I-C 共創デザイン演習 II-C
兼任	講師	三上 龍之 (60) <令和5年4月> 工学学士
		共創デザイン概論 デザイン基礎集中演習
兼任	講師	三橋 美穂 (57) <令和5年4月> 短期大学卒
		ライフマネジメント論 I
兼任	講師	宮 江介 (62) <令和5年4月> 修士(農学)
		環境論
兼任	講師	宮本 和佐 (51) <令和5年4月> 学士(芸術)
		ドローイング演習
兼任	講師	宮本 由紀 (56) <令和6年4月> Master of Fine Arts アメリカ
		Joshihi Art English A Joshihi Art English B
兼任	講師	村松 哲文 (55) <令和5年4月> 修士(文学)※
		東洋美術史概説 東洋美術史特論A
兼任	講師	村山 潤子 (65) <令和6年4月> 学士(経済)
		ライフマネジメント論 II-A
兼任	講師	室内 美緒 (63) <令和5年4月> 学士(芸術)
		色彩学A 色彩学B
兼任	講師	空谷 吉也 (60) <令和5年4月> 短期大学卒
		プロジェクト・スタディーズ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森(豊平) 真理子 (44) <令和5年4月> 学士(文学)
		芸術学A
兼任	講師	守谷 貴絵 (48) <令和5年4月> 学士(芸術)
		共創デザイン概論 産官学連携演習
兼任	講師	門馬 昌道 (63) <令和5年4月> 学士(商学)
		キャリア形成A キャリア形成B キャリア形成C キャリア形成D
兼任	講師	矢野 勝彦 (57) <令和5年4月> 法学士
		ソーシャルグッドネスデザイン論
兼任	講師	山口 沙和子 (40) <令和5年4月> 学士(文学)
		共創デザイン実践I 共創デザイン実践II 共創デザイン実践III
兼任	講師	山下 敏男 (72) <令和5年4月> 高等学校卒
		デザイン基礎集中演習
兼任	講師	山田 洋 (56) <令和5年4月> 博士(総合社会文化)
		観光学
兼任	講師	山田 遊 (45) <令和5年4月> 学士(文学)
		共創デザイン演習I-B
兼任	講師	山本 聡美 (36) <令和5年4月> 学士(法学)
		ライフマネジメント論I

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	森(豊平) 真理子 (45) <令和5年4月> 学士(文学)
		芸術学A
兼任	講師	守谷 貴絵 (49) <令和5年4月> 学士(芸術)
		産官学連携演習 I
兼任	講師	門馬 昌道 (64) <令和5年4月> 学士(商学)
		キャリア形成A キャリア形成B キャリア形成C キャリア形成D
兼任	講師	矢野 勝彦 (58) <令和5年4月> 法学士
		ソーシャルグッドネスデザイン論
兼任	講師	山口 裕博 (71) <令和5年4月> 博士(法学)
		アートと法入門
兼任	講師	山崎 由紀奈 (40) <令和5年4月> 修士(体育科学)
		健康科学B
兼任	講師	山下 敏男 (73) <令和5年4月> 高等学校卒
		デザイン基礎集中演習
兼任	講師	山田 洋 (57) <令和5年4月> 博士(総合社会文化)
		観光学
兼任	講師	山本 聡美 (37) <令和5年4月> 学士(法学)
		ライフマネジメント論 I

【認可時又は届出時】			【令和5年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山本 雄三 (59) <令和6年4月> 芸術学修士			
		感性異分野共創論 I ※			
兼任	講師	柳 太漢 (38) <令和5年4月> 学士(理学)			
		共創デザイン実践 I 共創デザイン実践 II 共創デザイン実践 III			
兼任	講師	横山 修一郎 (53) <令和5年4月> 修士(地域文化)	兼任	講師	横山 修一郎 (54) <令和5年4月> 修士(地域文化)
		文学 イタリア語 I A イタリア語 I B イタリア語 II A イタリア語 II B			文学 イタリア語 I A イタリア語 I B イタリア語 II A イタリア語 II B
兼任	講師	良知 暁 (42) <令和5年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	良知 暁 (43) <令和5年4月> 学士(社会学)
		現代美学			現代美学
兼任	講師	李 研(渋谷 研紀晴) (43) <令和5年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	李 研(渋谷 研紀晴) (44) <令和5年4月> 修士(教育学)
		中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B			コミュニケーション論 中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B
兼任	講師	Lemoine Fabien Denis (37) <令和5年4月> Le master Didactique des langues フランス	兼任	講師	Lemoine Fabien Denis (38) <令和5年4月> Le master Didactique des langues フランス
		フランス語 I A フランス語 I B フランス語 II A フランス語 II B			フランス語 I A フランス語 I B フランス語 II A フランス語 II B

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

<専任教員>

- ・瀧澤奈美専任教授の就任辞退に伴い、山田夏子専任教授を任用。
- ・一身上の都合により、千木良康子専任准教授の就任が令和5年4月から令和6年4月に延期。
- ・教育内容の充実を目的に、磯村香那専任助教、代市成美専任助教を任用。
- ・山田専任教授・磯村専任助教・代市専任助教の任用、千木良専任准教授の就任延期に伴い、松本博子専任教授、唐見麻由香専任准教授、羽田成宏専任准教授の担当科目を調整。

<兼任・兼任教員>

- ・奥山亜喜子兼任教授の負担軽減のため、一部科目担当を山口裕博兼任講師に変更。
- ・高木麻紀子兼任講師の就任辞退により、科目担当を三谷理華兼任教授に変更。
- ・越智郁乃兼任講師の就任辞退により、科目担当を田中理恵子兼任准教授に変更。
- ・小林篤志兼任教授の負担軽減およびGlinn Patrick Raphael兼任講師の就任辞退により、一部科目担当を宗像花草兼任准教授に変更。
- ・小林篤志兼任教授の負担軽減のため、一部科目担当を李研兼任講師に変更。
- ・金森香兼任講師の負担軽減のため、一部科目担当を潘逸舟兼任講師に変更。
- ・中村友美兼任講師の就任辞退により、科目担当を慶野結香兼任講師に変更。
- ・増田玲兼任講師の就任辞退により、科目担当を伊藤貴弘兼任講師に変更。
- ・小川佳代子兼任講師の負担軽減のため、一部科目担当を生沼みなみ兼任講師、山崎由紀奈兼任講師に変更。
- ・西口雄基兼任講師の負担軽減のため、一部科目担当を鬼塚淳子兼任講師に変更。
- ・佐藤紀子兼任講師の就任辞退により、科目担当を齋藤綾兼任講師に変更。
- ・平野智洋兼任講師の負担軽減のため、一部科目担当を中島彩花兼任講師に変更。
- ・授業運営上の都合により、「感性異分野共創論Ⅰ」担当者を神森真理子兼任講師のみに変更。
- ・授業運営上の都合により、「感性異分野共創論Ⅱ」担当者を石神夏希兼任講師のみに変更。
- ・浅沼尚兼任講師・井戸健二兼任講師・乙葉茂兼任講師・金子日奈兼任講師・小林紗也兼任講師・山口沙和子兼任講師・山田遊兼任講師・柳太漢兼任講師の就任辞退に伴い、専任教員の担当科目調整および、入江あずさ兼任講師・中臺隆平兼任講師・三上龍之兼任講師・三橋美穂兼任講師を任用。
- ・授業運営上の都合により、「女子美基礎講座」「女子美の教養」「プロジェクトスタディーズ」「Joshibi Foundation English A」「Joshibi Foundation English B」「フランス語ⅠA」「フランス語ⅠB」「共創デザイン概論」に兼任・兼任教員の担当者を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
3	3	0	0	6	4	3	2	0	2	7	2
(3)	(3)	(0)	(0)	(6)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
3	3	0	2	8	4	3	3	0	2	8	4
[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{6} = \boxed{133.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{4} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	瀧澤(安部) 奈美	R5.3	必修	共創デザイン演習Ⅰ-C	①	R5.3 合意による就任辞退(5)						
				必修	共創デザイン実践Ⅰ	①							
				必修	共創デザイン概論	①							
				選択	産官学連携演習	①							
				選択	産官学連携実践	①							
				必修	共創デザイン演習Ⅱ-C	①							
				必修	共創デザイン実践Ⅱ	①							
				必修	ライフマネジメント論Ⅱ-B	①							
				選択	共創デザイン選択演習Ⅱ-A	①							
				必修	共創デザイン演習Ⅲ-A	①							
				必修	共創デザイン実践Ⅲ	①							
				必修	ライフマネジメント論Ⅲ-A	①							
				選択	共創デザイン選択演習Ⅲ-A	①							
				選択	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Ea	①							
				選択	共創デザイン選択演習応用Ⅲ-Eb	①							
				必修	共創デザイン実践Ⅳ	①							
				必修	卒業研究	①							
選択	ライフマネジメント論Ⅳ-A	①											
選択	ライフマネジメント論Ⅳ-B	①											
合計(D)					後任補充状況の集計(E)								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
1	人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	19	科目	計	19	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
							該当なし						
合計(F)					後任補充状況の集計(G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	11 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	19 科目	計	19 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{6} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
						該当なし			
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退した専任教員が担当予定の授業科目については、後任の担当者を任用する、または他に担当教員がいることから、学生の履修等への影響はないと考える。学生への周知方法はシラバス等で行っている。

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。



## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
    - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

<芸術学部 共創デザイン学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

FD委員会（～令和4年9月21日）、FD・SD委員会（令和4年9月22日～）

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度 1回開催 教員の参加状況は9割以上である。

令和4年度 2回開催 教員の参加状況は9割以上である。【参考】10/12 FD・SD委員会 教員委員は10割出席

##### c 委員会の審議事項等

###### (1)FD

- ・ FD推進に係る基本方針及び実施計画の策定
- ・ FD活動の実施及び評価
- ・ FD活動に関する情報の収集と提供
- ・ カリキュラム・ポリシーに基づく、シラバスの内容の適正性等の検証
- ・ その他FDに関する事項

###### (2)SD

- ・ SD推進に係る基本方針及び実施計画の策定
- ・ SD活動の実施及び評価
- ・ SD活動に関する情報の収集と提供
- ・ その他SDに関する事項

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 学園全体の取組事項に関する報告と共有
- ・ ハラスメント防止のための研修
- ・ 精神的困難のある学生、ジェンダー・LGBTQの理解と対応、合理的配慮等に関する研修
- ・ 新任教職員のための研修
- ・ 教員相互の授業参観

b 実施方法

オンライン実施を基本とし、開催内容に応じて対面実施も行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修は全ての専任（任期付含む）教員を対象と実施している。（新任教職員研修は新任教職員に限る）  
当日参加できなかった場合は、当日資料の配付や録画できる研修は録画を視聴できるように  
するなど、研修を受講するための取り組みを行っている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

次年度のFD（FD・SD）委員会においてFD活動の実施報告を行い、その場で授業改善などに向けた意見交換を行い、その内容を各委員から所属学科等に伝達するようにしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

「授業に関する学生の声アンケート」として、原則全ての授業科目について実施。前期科目については7月下旬頃、後期・通年科目については1月上旬頃に、アンケートシステムのURLおよび回答依頼を学生へメールにて配信している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業科目ごとに担当教員の考察やコメントを添えた前年度分の集計結果を、全学生・教員が閲覧可能なアンケートシステム（WEB）上で毎年4月1日に公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

（5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

## (4) 自己点検・評価等に関する事項

### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

#### 1. 設置の趣旨

令和5年度に設置した共創デザイン学科は、伝達や用途などの目的や機能を考え、デザインする能力を身に付け、顧客や消費者をはじめとする多様な立場の人々と協働して、商品やサービスの価値を共に創り上げることのできる能力を備えた人材の養成を目的とする。

#### 2. 教育課程の編成

共創デザイン学科では、高等教育の大衆化の進行と生涯学習への移行を踏まえつつ、学部段階の専門教育では特定分野における完成教育というよりも、生涯学び続ける基礎を培う、より普遍的な教育が求められていることから、教養教育及び専門分野の基礎・基本を重視した教育を行うことにより、専門的素養のある人材として活躍できる基礎的能力や生涯学習の基礎等を培うこととしている。

具体的には、「学科専門科目」では、4年間の学習期間内において、人材の養成に関する目的や学位授与の方針を確実に達成するとともに、学部基礎教育の重要性を踏まえたうえで、教育課程が過密とならないように配慮することから、教育内容を精選し、人材の養成に関する目的や学位授与の方針を達成するために必要な授業科目について、優先順位を踏まえた配置とすることで、単位制度の実質化による教育の質の確保を目指すこととしている。

「デザイン分野における基本的な理論と技法に関する理解とともに、デザイン分野の職業に関する倫理や社会的意義について理解する」ための科目としては、「共創デザイン概論」、「共創デザイン演習Ⅰ-C」など、12科目を配置している。

「デザイン活動を通して多様な立場の人々との協働作業を主導する姿勢、また、これらの協働により、高付加価値の商品やサービスを共に創り出す能力を養う」ための科目としては、「コミュニケーション特論Ⅰ」、「共創デザイン演習Ⅰ-A」など、9科目を配置している。

「デザインの諸活動の実践を通して、自己のアイデンティティを確立しその個性を磨き続ける意欲と、生涯にわたり自己成長を継続できる態度を養う」ための科目としては、「ライフマネジメント論Ⅰ」、「自律的キャリア教育」など、9科目を配置している。

「デザイン活動に必要な独自の観察力や洞察力を高める理論と技法の修得のもと、それらを総合して見出した課題に対して、適切かつ効果的なデザイン手法を活用する能力を養う」ための科目としては、「ビジネスデザイン概論」「共創デザイン演習Ⅰ-B」など、25科目を配置している。

「産官学連携・地域連携等のプロジェクトの実施により多様な立場の人々との協働による高付加価値の商品企画や構想立案に関する体験を通して、講義や演習で得た知識と技能の総合化を図る」ための科目としては、「共創デザイン実践Ⅰ」、「産官学連携演習」など、6科目を配置している。

#### 4. 学生の受け入れ

令和5年度は、入学定員60名に対して139名の志願者があり、62名が入学した。入学定員超過率は1.03倍となった。

#### 5. 総括評価・所見

以上のように、共創デザイン学科は、設置の趣旨・目的を達成するために適切に設置計画を履行している。令和6年度以降も、設置の趣旨・目的を達成するための取り組みを進めていく。

### ② 自己点検・評価報告書

#### a 公表（予定）時期

- ・ 令和3（2021）年度女子美術大学全学自己点検・評価報告書 令和4年4月 公表

#### b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開

### ③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和4年度に認証評価機関（大学基準協会）による認証評価を受審し、その結果、同協会が定める大学基準に適合していると認定された。次回は、令和11年度に受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。